

◇北区区ビジョンまちづくり計画 第2次実施計画進捗状況(平成30年度分)◇

◆全体

成果	事業数
A:計画を上回る実績があった	9
B:計画通り実施できた	92
C:計画を達成できなかった	8
D:未着手	0
合計	109

※再掲は含まず

◆目指す区のすがた別

目指す区のすがた	成果	事業数
1.「豊かな自然と共生するまち」 ～自然環境の保全と積極的な活用	A:計画を上回る実績があった	2
	B:計画通り実施できた	4
	C:計画を達成できなかった	2
	D:未着手	0
	小計	8
2.「都市機能が充実したまち」 ～都市基盤の整備	A:計画を上回る実績があった	0
	B:計画通り実施できた	15
	C:計画を達成できなかった	0
	D:未着手	0
	小計	15
3.「活力ある産業のまち」 ～魅力ある産業の振興	A:計画を上回る実績があった	1
	B:計画通り実施できた	21
	C:計画を達成できなかった	4
	D:未着手	0
	小計	26
4.「学びあい、健康で、人にやさしいまち」 ～学びと健康・福祉の充実	A:計画を上回る実績があった	3
	B:計画通り実施できた	42
	C:計画を達成できなかった	1
	D:未着手	0
	小計	46
5.「安心安全で暮らしやすいまち」 ～安全で快適な環境づくり	A:計画を上回る実績があった	3
	B:計画通り実施できた	10
	C:計画を達成できなかった	1
	D:未着手	0
	小計	14
合計		109

※再掲は含まず

◇北区ビジョンまちづくり計画 第2次実施計画進捗状況(平成30年度分)◇

1 「豊かな自然と共生するまち」～自然環境の保全と積極的な活用

A: 計画を上回る実績があった B: 計画通り実施できた
C: 計画を達成できなかった D: 未着手

(1) 自然環境の保全

○ 市民や企業・大学・隣接自治体などとの連携・協働による環境保全活動を推進するとともに、活動団体と地域住民との相互協力などを支援し、潤いと安らぎの生活空間を追求します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
1	福島潟環境保全対策推進協議会主催事業	福島潟の環境浄化対策の推進や環境保全調査研究の実施により潟環境の保全を図ります。	B	・クリーン作戦参加人数 700人 ・新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	クリーン作戦参加人数 700人 新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	B	クリーン作戦参加人数 750人 新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	区民生活課

○ 北区の自然の魅力を再認識する活動を推進するとともに、活動団体へのさまざまな支援を検討します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
2	福島潟自然文化基金活用事業	福島潟自然文化基金を活用し、自然保護活動の支援や啓発事業を行います。	A	関係団体に案内文書を送付し、事前相談を受けるなど事業の周知に努めました。 申請 4団体	関係団体への案内・周知の強化、補助金申請 4団体以上	C	関係団体に案内文書を送付するなど事業の周知に努めましたが、補助率が1/2に減少した影響から、申請が減少してしまいました。 申請 1団体	産業振興課
3	海岸林利活用推進事業	地域のコミュニティ協議会やボランティア団体、大学なども連携し、これまでの保全活動を継続して支援するとともに、担い手の増加に努め、持続可能な体制を構築するためのアイデアや手法を、地域と協働で検討していきます。	B	保全活動は4回予定のところ、雨天中止があり3回となりました。地域コミュニティ協議会と協働で、コミュニティビジネスの試行を実施しました。	保全活動の継続による保安林の維持と、コミュニティビジネスの開始を目指します。	B	保全活動を4回実施し、保安林の維持に努めるとともに、森林資源を活用するコミュニティビジネスを開始しました。	産業振興課

○ 水辺の環境を保全していくため、ごみの不法投棄対策を進めていきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
1	福島潟環境保全対策推進協議会主催事業【再掲】	福島潟の環境浄化対策の推進や環境保全調査研究の実施により潟環境の保全を図ります。	B	・クリーン作戦参加人数 700人 ・新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	クリーン作戦参加人数 700人 新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	B	クリーン作戦参加人数 750人 新芽呼ぶヨシ焼き実施 1回	区民生活課

○ 身近な河川や水路の水質保全を図るため、下水道汚水処理施設整備を推進するとともに、環境用水の導入を検討し、関係機関との協議を進めていきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
4	公共下水道事業(汚水)	生活環境の保全、公衆衛生の向上及び公共用水域等の水質保全のため下水道(汚水)整備を進めます。	B	葛塚地区、長浦地区、岡方地区、濁川地区で下水道(汚水)整備を進めました。	下水道事業計画区域の整備を進めます。	B	太夫浜地区、岡方地区、長浦地区、濁川地区で下水道(汚水)整備を進めました。	東部地域下水道事務所 北下水道分室

(2) 自然環境の活用

○ 環境教育や自然体験の場、自主的な地域づくりの場、ふれあいと憩いの場としての活用を促進するとともに、ふるさと意識と区の一体感の醸成を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
5	福島潟自然文化祭事業	地域コミュニティ協議会や自然保護団体、環境と人間のふれあい館、葛塚中学校などと実行委員会を組織し、水の公園福島潟で自然保護啓発に関する各種イベントを開催します。	B	実行委員会で検討を重ね、雁迎灯や「潟の楽校」などのイベントのほか、第20回記念事業としてだんごまきなどを実施しました。集客 18,000人	実行委員会を組織し、意見交換や調整を重ね、自然保護啓発に関する各種イベントを実施します。集客 18,500人以上	A	予算削減などの様々な課題について実行委員会での検討を重ね、雁迎灯や「潟の楽校」などのイベントを実施しました。集客 21,000人	産業振興課
3	海岸林利活用推進事業【再掲】	地域のコミュニティ協議会やボランティア団体、大学などとも連携し、これまでの保全活動を継続して支援するとともに、担い手の増加に努め、持続可能な体制を構築するためのアイデアや手法を、地域と協働で検討していきます。	B	保全活動は4回予定のところ、雨天中止があり3回となりました。地域コミュニティ協議会と協働で、コミュニティビジネスの試行を実施しました。	保全活動の継続による保安林の維持と、コミュニティビジネスの開始を目指します。	B	保全活動を4回実施し、保安林の維持に努めるとともに、森林資源を活用するコミュニティビジネスを開始しました。	産業振興課
6	海辺の森賑わい創出事業	海辺の森の再生・創出・活用するための「新潟市北区海岸林保全計画」に基づき、森林整備や林内歩道の整備、植栽等を実施します。	B	クロマツの植栽工事を実施し、駐車場の整備を行いました。また、歩道の設計を行いました。	林内歩道を新設し、海辺の森すべてのエリアを繋ぎます。	B	未整備であった区域に歩道を新設し、散策等に利用しやすい森になりました。	産業振興課

○ 環境教育に係るイベントの開催や指導者の育成などの充実を図ります。実施にあたっては、県立環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館）などと協力して進めていきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
7	福島潟・学校案内事業	水の駅「ビュー福島潟」のレンジャーが小中学校の環境学習で福島潟の自然を案内します。(指定管理事業)	C	学校関係者向けに施設HPや環境学習パンフレットを作成し周知に努めたほか、周辺施設を交えた体験プログラムを提供しました。案内 69校	HP等で学校案内の周知を強化し、周辺施設との連携を行います。案内72校以上	C	学校関係者向けに環境学習パンフレットを作成し周知に努めたほか、周辺施設を交えた体験プログラムを提供しました。案内 60校	産業振興課
8	福島潟・自然とふれあう企画事業	より多くの人から、福島潟の自然保護・環境保全や魅力について理解をいただくため、各種イベントを企画し市民活動団体等と協力し実施します(指定管理事業)。	C	各種写真展のほかオニバスやオオヒシクイの案内所、開館20周年記念名誉館長講演会などを実施。有料入館者数 39,005人	福島潟の自然保護及び文化の伝承に関する各種イベントを企画し、市民と協働で実施します。ビュー福島潟有料入館者数 40,500人以上	A	各種写真展のほかオニバスやオオヒシクイの案内所、福島潟が舞台の児童文学「河童のユウタ」のシンポジウムなどを実施しました。有料入館者数 42,444人	産業振興課

1 「豊かな自然と共生するまち」～自然環境の保全と積極的な活用

○ 阿賀野川河口の変遷や、福島潟干拓の歴史など、北区特有の自然環境に関する教育の充実を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
7	福島潟・学校案内事業 【再掲】	水の駅「ビュー福島潟」のレンジャーが小中学校の環境学習で福島潟の自然を案内します。(指定管理事業)	C	学校関係者向けに施設HPや環境学習パンフレットを作成し周知に努めたほか、周辺施設を交えた体験プログラムを提供しました。案内 69校	HP等で学校案内への周知を強化し、周辺施設との連携を行います。案内72校以上	C	学校関係者向けに環境学習パンフレットを作成し周知に努めたほか、周辺施設を交えた体験プログラムを提供しました。案内 60校	産業振興課

○ 中央区の鳥屋野潟・西区の佐潟・西蒲区の上堰潟と連携し、福島潟の魅力を発信するとともに、海辺の森の利用を促進し、交流人口の拡大を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
5	福島潟自然文化祭事業 【再掲】	地域コミュニティ協議会や自然保護団体、環境と人間のふれあい館、葛塚中学校などと実行委員会を組織し、水の公園福島潟で自然保護啓発に関する各種イベントを開催します。	B	実行委員会で検討を重ね、雁迎灯や「潟の楽校」などのイベントのほか、第20回記念事業としてだんごまきなどを実施しました。集客 18,000人	実行委員会を組織、意見交換や調整を重ね、自然保護啓発に関する各種イベントを実施します。集客18,500人以上	A	予算削減などの様々な課題について実行委員会で検討を重ね、雁迎灯や「潟の楽校」などのイベントを実施しました。集客 21,000人	産業振興課
6	海辺の森賑わい創出事業 【再掲】	海辺の森の再生・創出・活用するための「新潟市北区海岸林保全計画」に基づき、森林整備や林内歩道の整備、植栽等を実施します。	B	クロマツの植栽工事を実施し、駐車場の整備を行いました。また、歩道の設計を行いました。	林内歩道を新設し、海辺の森すべてのエリアを繋ぎます。	B	未整備であった区域に歩道を新設し、散策等に利用しやすい森になりました。	産業振興課

2「都市機能が充実したまち」～都市基盤の整備

(1) 計画的な土地利用

○ JR豊栄駅周辺などJR白新線と北区内の道路が結節する地点を中心に、都市機能の拠点整備を行います。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
9	豊栄駅北地区まちづくり事業	豊栄駅北地区に都市機能を強化するため約10.3haの開発を計画していきます。	B	平成30年3月17日に豊栄駅北地区開発について検討する勉強会を開催しました。コンサル・新潟市・地域開発を希望される地権者を含めて開催しました。	区画整理関係者と開発内容の方針・方向性を検討する勉強会を開催します。(1回以上)	B	平成31年3月30日に豊栄駅北地区まちづくり事業の勉強会を開催しました。(マスタープランとの整合性について)	建設課

(2) 道路・雨水対策施設などの整備

○ 北区内外の拠点を結び、利便性の高い道路整備を行います。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
10	新潟中央環状道路整備事業	新たな地域連携・交流の軸となり、大都市としての一体性の実現に重要な基幹道路の整備を図っていきます。	B	浦木工区の盛土工事を継続中。(H29⇒H30年度繰り越し事業)	浦木工区の道路改良工事を実施します。	B	浦木工区の道路改良工事を継続中。(H30⇒H31年度繰り越し事業)	建設課
11	競馬場島見町線整備事業	国道113号など幹線道路とネットワーク化を図り、旧新潟・旧豊栄間を南北に結ぶ幹線道路の整備を図っていきます。	B	島見町・白勢町の盛土を実施。	島見町・白勢町の道路改良工事を実施します。	B	島見町・白勢町の道路改良工事を実施。 30年度末に道路供用開始。	建設課
12	豊栄駅木崎線整備事業	競馬場と市街地を結ぶ葛塚・競馬場線を補完する重要路線であり、都市計画道路木崎・見国山線と直結することにより競馬開催時の道路混雑の緩和を図っていきます。	B	木崎地区の予備設計を実施。	木崎地区の用地測量、質調査を実施します。	B	木崎地区の用地測量、土質調査を実施。	建設課
13	正尺早通線整備事業	早通地区と葛塚地区を結び、日本海東北自動車道豊栄東港インターチェンジに直結する道路であり、葛塚地区の市街地と高速道路及び新潟都市圏を繋ぐ広域幹線である新潟中央環状道路との連絡強化を図っていきます。	B	交差点形状(暫定利用)について、関係者と調整協議を図りました。	交差点形状について、関係者と調整協議を図ります。	B	交差点形状(暫定利用)について、関係者と調整協議を図りました。	建設課
14	葛塚南線整備事業	新潟中央環状道路と主要地方道新潟長浦水原線を直結する補助幹線道路であり、新潟都市圏との連携強化を図っていきます。	B	橋台工事を継続中 (H29～H31年度の債務負担) (橋台右岸 1基 橋脚 1基)	橋台・橋脚工事を実施します。	B	橋台・橋脚工事を継続中 (H29～H31年度の債務負担) (橋台右岸 1基 橋脚 1基)	建設課

○ 雨水対策施設は、過去の浸水被害状況や現況の整備水準などにより、優先順位の高い地区から整備を進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
15	公共下水道事業(雨水)	近年の都市化の進展や局所的な豪雨による市街地の冠水地区などに雨水対策施設の整備を進めると共に、市民の自助対策への支援制度など総合的な浸水対策を進めます。	B	松浜地区で浸水対策を進めました。	下水道事業計画区域の整備を実施し、自助対策への支援を進めます。	B	松浜地区で浸水対策の実施設計を進めました。	東部地域 下水道事務所 北下水道分室

○新潟県が実施する治水対策事業と併せ、国営付帯県営かんがい排水事業(阿賀野川右岸地区)を推進し、市街地および農地の浸水対策を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
16	一級河川福島潟流域治水対策 河川事業 国営付帯県営かんがい排水事業	市街地及び農地の浸水被害軽減のため、湖岸堤の整備や流入支線の排水路などの整備を図っていきます。	B	福島潟周辺整備促進協議会で新潟県に対し、整備促進に関する要望書を提出しました。	整備要望実施	B	福島潟周辺整備促進協議会で新潟県に対し、整備促進に関する要望書を提出しました。	建設課

(3) 公共交通の充実

○公共交通が利用しにくい地域への対策を検討します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
17	公共施設利用促進バス事業	夏休み期間中、区内の公共施設(遊水館、豊栄図書館、ビュー福島潟など)を子どもや大人、親子で活用できるよう移動手段として無料バスを運行します。	B	ルートの見直し(乗車時間の短縮)、利用者範囲の見直し(大人も乗車可能に変更)、チラシの配布効果などにより、利用者は前年度より200名程度増え、公共施設の利用を促進しました。	前年度の利用実績やアンケート結果などを踏まえ、運行内容等の見直しを行います。	B	運行期間の見直し(4日短縮)、チラシ配布範囲の見直し(沿線小中学校→区内全小中学校)などにより、利用者は前年度より300名程度増え、かつ1便あたりの利用者は倍増(8.3人/便)し、効率的に公共施設の利用を促進しました。	地域総務課
18	地域交通改善事業 (デマンド交通住民バス化支援事業)	地域の実情に応じた持続可能な生活交通を実現するため、北区デマンド交通の住民バス化を目指します。	B	岡方コミ協総務部会、長浦コミ協総務広報部会において、デマンド交通を含めた持続可能で充実した公共交通のあり方について協議していくこととなりました。	住民組織によるデマンド交通運営の実施状況について、住民組織、運行事業者、市と情報共有を行い、各業務分担などについて見直しを行います。	B	住民組織及び運行事業者と協議を重ね、H31年度から住民組織によるデマンド交通運営がスタートすることとなりました。	地域総務課
		デマンド方式による公共交通の利用ニーズを調査・分析するため、社会実験によるデマンド交通の運行を行います。	B	継続運行に向け、運行改正(運賃、定時運行、予約方法の変更)を実施しました。社会実験として運行を継続できたほか、利用状況について岡方、長浦両地区及び運行事業者と情報共有を図りました。	前年度の運行改正による利用分析を行い、運行の見直しについて住民組織と運行事業者と協議を行い、必要に応じて運行改正を行います。	B	利用分析の結果、乗降場所を4ヶ所増やす運行改正を行いました。また、H31年4月からの運行改正(自宅側停留所設置、岡方、長浦コミュニティセンターを乗降場所に増やす)手続きを行いました。	

○公共交通の利用促進と併せ、さらなる利便性の向上を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
19	地域交通改善事業 (既存公共交通の改善事業)	現行の住民バス、区バスを生活交通としてさらに使いやすくするため、運行内容などについて継続して見直していきます。	B	区バス・住民バスの利用状況について毎月の実績を記録・分析、運行業者や住民組織との意見交換会を開催しました(区バス2回、住民バス2回)。その他、バス停設置やダイヤ改正の要望がある度、密に連絡を取り合いました。	区バス、住民バス利用状況等調査を行います。(運行実績及び現地調査毎月) 区バス運行事業者意見交換会を実施します。(2回) 住民バス組織との意見交換会を実施します。(2回)	B	区バス・住民バスの利用状況について毎月の実績を記録・分析、運行業者や住民組織との意見交換会を開催しました(区バス2回、住民バス6回)。その他、バス停設置やダイヤ改正の要望がある度、密に連絡を取り合いました。	地域総務課
		公共交通を利用しやすくするため、利用促進のPR広報や交通案内表示などの見直しを行います。	B	区役所だよりで「北区バスつうしん」を7回掲載した他、区バス・住民バス特集を10月に掲載しました。 豊栄駅交通案内表示板を入れ替え、利用案内チラシを設置(専用スタンドの設置) 新崎駅乗り換え案内表示の維持管理	「北区バスつうしん」の区役所だよりへの掲載 豊栄駅交通案内表示板入れ替え1回(運行改正の内容ほか) 新崎駅乗り換え案内表示の維持管理	B	区役所だよりへ周知記事掲載7回、緊急時(葛塚祭)1回掲載 豊栄駅交通案内表示板入れ替え1回(運行改正の内容ほか) 新崎駅乗り換え案内リニューアル 新たに豊栄病院内にラックを設置	

○ 各種社会実験を通して、区内の各地域を結ぶ住民バス・区バスなどの整備と充実を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
20	地域交通改善事業 (各種社会実験実施事業)	区バス復路1便増便またはダイヤ変更に向けた利用ニーズ調査を実施します。	B	車内での聞き取り調査を実施し、利用者のニーズ把握に務めました。	前年度の調査結果を受け、引き続きニーズの把握に努め、必要に応じて運行内容の改正等を検討します。	B	地域の協力により、区バス沿線18自治会の全世帯にアンケート調査を行い、以前より希望のあった社会実験便1往復便をH31年度より運行することが決まりました。	地域総務課

(4) 新潟東港の機能強化

○ 関係機関に、港湾機能の強化を要望していきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
21	新潟港利用活性化事業	新潟港の利用活性化を図るため、コンテナ貨物の輸出支援、日本海横断航路の運航支援、ポートセールス、港湾施設の整備促進等に取り組みます。 (本庁主体(港湾空港課)事業)	B	新潟港から輸出する荷主への支援を継続実施するとともに、広域自治体と連携し、東京での物流見本市への出展、企業向けセミナーを開催しました。 日本海横断航路については、あり方検討員会に委員として参画し、情報の収集を行いました。	東京での物流見本市に出展、輸出荷主への支援を実施	B	新潟港から輸出する荷主への支援を継続実施するとともに、広域自治体と連携し、東京での物流見本市への出展、企業向けセミナーを開催しました。 さらに、港湾管理者である県と連携し、東京で首都圏の荷主向けにセミナーを開催しました。	都市政策部 港湾空港課

3「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興

(1) 商工業の活性化

① 商業

○ 北区内の商店街が一体となって行う取り組みや、各商店街による賑わい創出や人材育成の取り組みを支援していきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
22	地域商業魅力創生プロジェクト	地域商業の活性化のために、テーマを設定し、そのテーマを用いて地域の商店街、商店の新規顧客獲得につながる取り組みを実施します。	B	「こらっせ松浜市」や豊栄高校とコラボした葛塚市場アーチ看板のリニューアル、似顔絵コンテストなどを実施しました。	北区内の各地域ごとのテーマに沿って事業を実施します。	B	「こらっせ松浜市」や豊栄高校とコラボした葛塚市場アーチ看板のリニューアル、似顔絵コンテストなどを実施しました。	産業振興課

○ 民間団体の活動を促進し、まちの活性化を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
23	北区拠点商業活性化推進事業計画	商店街団体が実施する活性化事業の支援を行い、賑わい創出の成果の向上に繋がります。	B	北区おもてなしクーポンや商店会まつりなどへの補助事業を通じてにぎわいの創出の成果向上に努めました。	第2期計画における、各商店街が実施する事業への協力・助言を行います。	B	北区おもてなしクーポンや商店会まつりなどへの補助事業を通じてにぎわいの創出の成果向上に努めました。	産業振興課 経済部 商業振興課

○ 葛塚市・松浜市が連携して行う事業や環境整備の取り組みを支援し、誘客の増加を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
24	露店市場の管理運営事業	葛塚市・松浜市が実施する、市場の活性化事業を支援し、誘客の増加を図ります。	B	各市場で利用できる共通商品券「いこてば商品券」販売の市報にいがたへの掲載や、市場をバスツアーの立ち寄り先に組み込む等支援を行いました。	関連団体等が実施する誘客事業への協力・助言を行います。	B	各市場で利用できる共通商品券「いこてば商品券」販売の区役所だよりへの掲載や、市場をバスツアーの立ち寄り先に組み込む等支援を行いました。	産業振興課

② 工業

○ 新潟東港の活性化につながる産業集積・企業誘致を図るため、製造や物流関連産業などに対して、新技術の開発支援や立地環境の整備を行い、雇用の拡大に努めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
25	工業振興事業	製造業者の育成及び工場の立地を促進します。	B	本課(企業立地課)にて実施	本課(企業立地課)にて実施予定	B	本課(企業立地課)にて実施	産業振興課 経済部 企業立地課
26	物流施設立地促進事業	物流施設の立地を促進することにより、施設の集積及び雇用機会の増大を図ります。	B	本課(企業立地課)にて実施	本課(企業立地課)にて実施予定	B	本課(企業立地課)にて実施	産業振興課 経済部 企業立地課

○ これからの新潟を支える基幹産業の育成、新産業の創出に努めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
27	技術開発支援事業	企業が新商品の企画や技術の開発に取り組む場合に、経費の一部を補助します。	B	本課(産業政策課)にて実施	本課(産業政策課)にて実施予定	B	本課(産業政策課)にて実施	産業振興課 経済部 産業政策課

○ 産業振興を進めるため、研究開発を行う頭脳拠点の形成に努めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
28	産学共同研究支援事業	企業と学術機関が共同で研究開発する場合に支援を行います。	B	本課(産業政策課)にて実施	本課(産業政策課)にて実施予定	B	本課(産業政策課)にて実施	産業振興課 経済部 産業政策課

○ メガソーラー・バイオマス関連企業を誘致し、再生可能エネルギー普及に努めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
29	メガソーラー関連企業誘致	メガソーラー事業が滞りなく実施されるよう努めます。	B	稼働中	稼働継続	B	稼働中	産業振興課
30	バイオマス関連企業誘致	バイオマス事業が滞りなく実施されるよう努めます。	B	稼働中	稼働継続	B	稼働中	産業振興課

(2) 収益性が高く魅力ある農水産業の振興

○ 遊休農地解消に向けた方策を検討、実施します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
31	「稼げる農業」促進事業	高品質・高付加価値を有する農産物の育成や生産拡大に向けた栽培技術の研究を行うとともに、それら農産物を用いた加工品の開発、市場開拓を行います。	B	北区産さつまいも(しるきーも)の販路拡大、ブランド力強化のためのPRを実施しました。	生産拡大に資する加工品の開発を支援します。	B	北区産さつまいも(しるきーも)のブランド力強化のためのPRや加工品開発のほか、施設園芸(トマト)にICTを導入するための検討会議を開催しました。	産業振興課

○ 農地中間管理事業を活用した、農地の出し手や担い手に対する支援を行い、農地集積を推進します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
32	農地中間管理事業	北区人・農地プランに基づき、地域の話し合いをもとに、地域の担い手へ農地集積を図り、農業の効率化・規模拡大を図ります。	C	1地区で実施 他1地区でも地域調整を進めていたが不調でした。	国補助事業を活用した補助金の交付(2地区)	C	1地区で実施 他1地区でも法人化も見据えた検討を進めました。	産業振興課

○ 減農薬・減化学肥料栽培面積の拡大を図り、安心安全な農産物をPRします。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
33	環境と人にやさしい農業支援事業	減農薬・減化学肥料栽培をはじめとする環境保全型農業を推進します。	C	有機減減栽培面積率19.2% 関係機関・団体と連携した支援補助事業を実施しました。	有機減減栽培面積率42.9% 関係機関・団体と連携した支援補助事業の実施	C	有機減減栽培面積率16.8% 関係機関・団体と連携した支援補助事業を実施しました。	産業振興課

○ 新たな地域ブランドとなる銘産品・特産品の掘り起こしや商品開発を、農商工学が連携して推進します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
31	「稼げる農業」促進事業【再掲】	高品質・高付加価値を有する農産物の育成や生産拡大に向けた栽培技術の研究を行うとともに、それら農産物を用いた加工品の開発、市場開拓を行います。	B	北区産さつまいも(しるきーも)の販路拡大、ブランド力強化のためのPRを実施しました。	生産拡大に資する加工品の開発を支援します。	B	北区産さつまいも(しるきーも)のブランド力強化のためのPRや加工品開発のほか、施設園芸(トマト)にICTを導入するための検討会議を開催しました。	産業振興課

○ 6次産業化を推進するため、農業者の企業化に向けた取り組みを支援します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
34	6次産業化・農商工連携支援事業	関係機関・団体と連携し、6次産業化に向けた研修を行うとともに、補助金を活用し、機械・施設整備等を支援します。	B	事業等を農家組合長会議等で説明しました。	事業要望者の掘り起こしを行います。 補助事業による支援を実施します。	B	事業等を農家の集まりの場で説明しました。	産業振興課 農林水産部 農業活性化 研究センター

3 「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興

○ 「大規模農業改革拠点」として国家戦略特区に選定されたことを最大限に活かし、農家レストランなど、新たな取り組みを推進します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
35	国家戦略特区推進事業	規制緩和を活かし、事業展開を行う農業者の掘り起しや取組支援を行います。	B	制度を農家組合長会議等で説明し啓発しました。	農業者等への啓発を行います。取組希望者への事業支援を行います。	B	事業等を農家の集まりの場で説明しました。	産業振興課

○ 海外を視野に入れた新たな需要を発掘するため、海外需要を把握し、ネットワークの構築を目指す（仮称）北区海外戦略会議の設置を検討します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
31	「稼げる農業」促進事業【再掲】	高品質・高付加価値を有する農産物の育成や生産拡大に向けた栽培技術の研究を行うとともに、それら農産物を用いた加工品の開発、市場開拓を行います。	B	北区産さつまいも(しるきーも)の販路拡大、ブランド力強化のためのPRを実施しました。	生産拡大に資する加工品の開発を支援します。	B	北区産さつまいも(しるきーも)のブランド力強化のためのPRや加工品開発のほか、施設園芸(トマト)にICTを導入するための検討会議を開催しました。	産業振興課

○ 南浜地区の小型船だまりなどの活用や、関係団体と連携し、水産業の振興を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
36	「新潟のおいしい魚」推進事業	漁村地域の活性化と交流人口の拡大を図るため、漁業組合と連携し、イベントを実施します。	B	開催日：平成29年7月30日(日) 来場者：3,000人	漁船乗船体験、地引網、海産物販売等	C	「浜で遊ぼうin南浜」 開催日：平成30年7月29日(日) 来場者：2,000人 荒天により漁船乗船体験は中止。	農林水産部 農村整備・水産課水産振興室

○ 新規就農者の確保・育成を推進します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
37	新規就農者支援事業	関係機関・団体と連携し、新規就農者を雇用する農業者を支援するとともに、新たに農業に参入する希望者や農家子弟に対し、受け入れ農家のコーディネートや就農計画の作成、交付金による支援等を行います。	A	・新規就農相談者8名 うち認定新規就農者1名 ・就農希望者の農業法人研修1名	受け入れ農家のコーディネート 就農計画の作成支援 交付金による支援等 新規就農相談者数5名	A	・新規就農相談者17名 うち認定新規就農者3名 ・就農希望者の農業法人研修1名	産業振興課

○ 生産性が高く、魅力のある農業が展開できるよう、老朽化した排水施設に対しては的確な修繕を実施し、機能の保全を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
38	排水機場維持管理事業	新潟市所有の排水機場について、維持管理を行うとともに、老朽化した施設の改修を実施します。	B	排水吐出函渠修繕工事を実施しました。	定期点検の実施を踏まえ維持管理を行います。	B	定期点検実施を踏まえて適切に維持管理を実施しました。	産業振興課
			B	団体営基幹水利施設ストックマネジメント事業でポンプ駆動機関分解整備工事を実施しました。	定期点検の実施により維持管理を行います。	B	定期点検実施を踏まえて適切に維持管理を実施しました。	
			B	2号主ポンプ分解整備工事及び転落防止柵修繕工事を実施しました。	定期点検の実施を踏まえ維持管理を行います。	B	定期点検実施を踏まえて適切に維持管理を実施しました。	

○ 美しく貴重な景観を守るとともに、営農環境の向上に向けた基盤整備を推進し、併せて散策に適した道路の形成を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
39	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動と、地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上を図る活動に対して費用を助成します。	B	技術研修会や組織リーダー研修会を開催し、周知を行いました。参加者数 30名	葛塚農村環境保全管理広域・木崎濁川環境保全管理広域・長浦岡方地域広域、3組織への積極的な取り組みに対しての啓発を行います。	B	各組織リーダー対象の制度研修会を開催し、周知を行いました。参加者 28名	産業振興課
40	農村環境施設維持管理事業	地域の方々の潤いの場として整備した農村公園やせせらぎ水路、緑と花の散歩道などの維持管理とともに、老朽化した施設の改修を行います。	B	定期的（昼・夜）や、暴風等の悪天候時の異常時パトロールを行い、施設の適切な維持管理を行いました。	定期的なパトロール等により農村公園関連施設の維持管理・修繕を行います。	B	定期的（昼・夜間）パトロールや悪天候時の異常時パトロールを行い、施設の適切な維持管理を実施しました。	産業振興課
41	農道等維持管理事業	農道及び集落排水路の維持管理とともに、老朽化した施設の改修を行います。	B	主要農道の定期的パトロールを実施し、適切な維持管理を行いました。また、東部中央線の区画線を設置し安全管理を行いました。	所管広域農道の安全対策等の定期的なパトロール等により維持管理を行います。	B	主要農道の月1回のパトロールを実施し適切な維持管理を実施しました。また、主要農道広域農道豊栄線の一部区間の舗装修繕工事を実施しました。	産業振興課
42	市民農園維持管理事業	都市居住者の農業体験の場として整備した市民農園の維持管理とともに、老朽化した施設の改修を行います。	B	パトロールを実施し破損箇所等を修繕しました。	定期的なパトロール等により維持管理を行います。	B	パトロール等を実施し農園の維持管理を適切に実施しました。	産業振興課

(3) 地域の魅力を活かした観光交流の推進

○ 新たな観光客の獲得と、リピーター化を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
43	キテ・ミテ・キタク魅力発信プロジェクト事業	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を狙います。	C	5回のバスツアーを実施し、満足度は天候不順の影響もあり前年度の満足度4.3を下回る4.1となりました。	バスツアー参加者のリピート希望満足度を設定します。4.3以上(5段階)	C	4回のバスツアーを実施し、満足度は天候不順の影響もあり3.9となりました。	産業振興課

○ 観光資源の整備に取り組みます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
6	海辺の森賑わい創出事業【再掲】	海辺の森の再生・創出・活用するための「新潟市北区海岸林保全計画」に基づき、森林整備や林内歩道の整備、植栽等を実施します。	B	クロマツの植栽工事を実施し、駐車場の整備を行いました。また、歩道の設計を行いました。	林内歩道を新設し、海辺の森すべてのエリアを繋ぎます。	B	未整備であった区域に歩道を新設し、散策等に利用しやすい森になりました。	産業振興課
44	観光宣伝費	北区をはじめ市の観光誘客を図るため、市外・県外の在住者を対象とした観光PRを実施します。	B	北区観光協会と「新潟市北区まるごとガイド」の作成や北区観光レポーター2名によるフェイスブックでの情報発信を行いました。	HPやタウン誌等を用いた観光PR活動	B	新潟市北区まるごとガイドの作成や北区観光レポーター2名によるフェイスブックでの情報発信を行いました。	産業振興課

○ 新潟東港の将来的な計画に合わせ、クルーズ船の寄港による観光交流人口の増加を検討していきます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
45	クルーズ船誘致推進事業	クルーズ船の誘致により、新潟港をはじめ街中や地域経済の活性化を図ることを目的に、船会社等へ新潟港および周辺地域の魅力をアピールするとともに、寄港時の歓送迎対応を行います。 (本庁主体(国際観光課)事業)	B	新潟港へのクルーズ船寄港回数：7回 ※別途、荒天による避難寄港1回あり(西港) 東港については、新潟港寄港最大規模のクルーズ船「セレブリティ・ミレニアム」の寄港をはじめ、計2回の大型クルーズ船の寄港がありました。	新潟港へのクルーズ船寄港回数：前年度以上	B	新潟港へのクルーズ船寄港回数：13回 東港については、コスタ・ネオロマンチカが2回寄港しました。	観光・国際交流部 国際・広域観光課 そらうみ誘客推進室

4「学びあい、健康で、人にやさしいまち」～学びと健康・福祉の充実

(1) 学びあいと生涯スポーツの支援

① 歴史・文化芸術

○ 北区郷土博物館・図書館・北区文化会館・北区内の公民館において、区民が郷土の歩みを学ぶ機会、文化芸術を鑑賞・創造する機会、それらの成果を発信する機会を提供するとともに、地域の歴史・文化芸術活動を担う人材の育成に取り組みます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
46	北区文化会館事業	子どもから高齢者までのあらゆる世代に対し、質の高い多様な文化事業に触れる機会を広く提供するとともに、文化会館を中心とし、文化活動を行う市民の支援を積極的に進めます。	A	適切な施設管理運営と積極的な市民文化活動の支援。 施設利用人数90,541人(前年比10,145人増:りゅーとびあ改修に伴う代替利用2,879人含む)	北区文化会館の管理運営、文化活動支援(北区フィルハーモニー管弦楽団・北区少年少女合唱団・北区ジュニア吹奏楽団活動支援)、年間利用人数87,000人(前年りゅーとびあ代替利用分を除く)	B	適切な施設管理運営と積極的な市民文化活動の支援。 施設利用人数88,824人	産業振興課
47	地域再発見事業	常設展「阿賀北の大地と人々の暮らし」等の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができるとともに、北区の魅力を発見できる事業を実施します。	B	・ふるさと学習の利用(小学校授業実施校6校) ・市民ガイドの要請講座等の開催(3回) ・歴史講座の開催(5回)	・ふるさと学習の利用(小学校授業実施校6校) ・市民ガイドの養成講座等の開催(3回) ・開館50周年を記念した講演会の開催	B	・ふるさと学習の利用(小学校授業実施校4校と、出前授業実施校3校 延べ7校) ・市民ガイドの要請講座等の開催(4回) ・開館50周年記念事業「北区伝統芸能文化の祭典」での講演会開催	北区郷土博物館
48	企画展事業	常設展「阿賀北の大地と人々の暮らし」では、言い尽くせない部分やさらに深く取り組むテーマについて学芸活動の蓄積を背景に積極的に企画展を行います。	B	・児童生徒を対象としたコンクール(松蔭賞書道展、北区こども科学展)の開催(2事業) ・企画展の開催(3事業)	・例年事業(松蔭賞書道展、北区こども科学展)の開催(2事業) ・企画展の開催(3事業)	B	・児童生徒を対象としたコンクール(松蔭賞書道展、北区こども科学展)の開催(2事業) ・企画展の開催(3事業)	北区郷土博物館
49	歴史・文化遺産の保存と活用事業	地域にある有形無形の文化財をはじめ、博物館や郷土資料収蔵庫に収蔵された歴史・民俗資料など膨大な資料を適正な空調管理で保存し、整理・調査・記録作業を実施し、その成果を発信するとともに、ふるさと学習の教材などとして活用を図ります。	B	博物館の継続的な主要業務の一つとして、収蔵歴史資料及び民俗資料の再整理を行いました。また、その成果を、企画展示につなげました。	歴史資料・新収蔵資料等の整理・記録、及び展示・収蔵を行います。	B	博物館の継続的な主要業務の一つとして、収蔵歴史資料及び民俗資料の再整理を行いました。また、その成果を、企画展示につなげました。	北区郷土博物館
50	郷土芸能伝承支援事業	北区に伝わる神楽等を地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取り組みを支援する。	B	・恒例の博物館まつりの「郷土芸能発表会」(12団体) ・出前公演の開催(5団体) ・ビデオテープのDVD化(17団体27本)	・50周年記念郷土芸能発表会の開催 ・伝統芸能を記録したDVDの編集について検討を行います。	A	・50周年記念郷土芸能発表会の開催(10団体) ・博物館まつりの郷土芸能発表会(6団体) ・伝統芸能を記録したDVDの編集検討	北区郷土博物館
51	北区美術展覧会	北区美術展覧会を開催し、美術活動の発表と鑑賞の場を提供します。	B	第11回北区美術展を開催しました。鑑賞者771人	年1回豊栄地区公民館を会場に実施します。	B	第12回北区美術展を開催しました。鑑賞者706人	豊栄地区公民館
52	公民館まつり	公民館まつりを開催し、市民に文化活動の発表の場と鑑賞の場・体験学習の場を提供します。	B	平成29年度公民館まつり、文化祭を開催しました。参加者2,897人	春は、サークル団体紹介・会員募集、秋はサークル活動成果の発表・作品展示・体験見学を実施します。	B	平成30年度公民館まつり、文化祭を開催しました。参加者2,863人	豊栄地区公民館

4 「学びあい、健康で、人にやさしいまち」～学びと健康・福祉の充実

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
53	北区市民茶会	日本の代表的な伝統文化の一つであり、総合芸術とされる茶道を親しむため北区市民茶会を開催します。	B	第11回北区市民茶会を開催しました。参加者1,862人	年1回、5流派合同による茶会を北区文化会館と豊栄地区公民館を会場に実施し、茶道体験コーナーを併設します。	B	第12回北区市民茶会を開催しました。参加者1,773人	豊栄地区公民館
54	文芸あがきた	北区にゆかりのある中学生から高齢者までの幅広い世代の住民の投稿作品によって、文芸誌「文芸あがきた」を作製、発行します。	B	「文芸あがきた第11号」を発刊しました。投稿者187人	年1回の発刊 投稿作品のほか、中学校連携による生徒作品を掲載します。	B	「文芸あがきた第12号」を発刊しました。投稿者224人	豊栄地区公民館
55	学習成果を発表する場の提供	文化祭などを開催し、市民に発表と鑑賞の場を提供します。	B	19団体が利用し、5,036人が鑑賞しました。	展示情報の発信 美術企画展を年2回開催し、期間中ワークショップ1回実施します。	B	美術企画展を年2回、区民ギャラリーでは18団体が利用。5,457人が鑑賞しました。	豊栄地区公民館
56	豊栄文化協会補助金交付事業	豊栄地区の芸術文化の振興と市民の情操意欲を図り、豊かな市民生活の樹立を目的とした文化協会の文化事業に対して補助金を交付します。	B	豊栄文化協会に補助金を交付しました。文化協会祭参加者483人	文化祭、芸能祭、展示会など豊栄文化協会事業の支援を行います。	B	豊栄文化協会に補助金を交付しました。文化協会祭参加者 593人	豊栄地区公民館
17	公共施設利用促進バス事業【再掲】	夏休み期間中、区内の公共施設(遊水館、豊栄図書館、ビュー福島潟など)を子どもや大人、親子で活用できるよう移動手段として無料バスを運行します。	B	ルートの見直し(乗車時間の短縮)、利用者範囲の見直し(大人も乗車可能に)、チラシの配布効果などにより、利用者は前年度より200名程度増え、公共施設の利用を促進しました。	前年度の利用実績やアンケート結果などを踏まえ、運行内容等の見直しを行います。	B	運行期間の見直し(4日短縮)、チラシ配布範囲の見直し(沿線小中学校→区内全小中学校)などにより、利用者は前年度より300名程度増え、かつ1便あたりの利用者は倍増(8.3人/便)し、効率的に公共施設の利用を促進しました。	地域総務課

○ 音楽・演劇など文化芸術活動による地域の活性化を目指し「文化芸術のみやこ 北区」の実現に向け、交流人口の拡大と区民が主体となる活動の支援に取り組みます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
57	北区文化会館事業	地域住民を主体とした文化活動の創造・発信・集積の場として地域に開かれる場となるとともに、文化を通してまちの活性化も含めた賑わいを創出できる事業を行います。	B	・文化創造劇「二日月」4回公演・第5回北区うたの祭典・第7回北区フィルファミリーコンサート・第3回北区ジュニア吹奏楽団定期演奏会・第1回北区少年少女合唱団定期演奏会の実施及び各種鑑賞事業の実施	市民劇・北区うたの祭典・北区フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会・北区少年少女合唱団育成支援 各種鑑賞事業等の実施	B	新版「二日月」劇団北極星公演・第6回北区うたの祭典・第8回北区フィルファミリーコンサート・第4回北区ジュニア吹奏楽団定期演奏会・第2回北区少年少女合唱団定期演奏会の実施及び各種鑑賞事業の実施	産業振興課
58	北区音楽祭	北区文化会館、参加団体との共催により、市民による音楽の発表と鑑賞の場を提供し、音楽文化の振興を図ります。	B	北区音楽祭2017を開催しました。鑑賞者1,315人	年1回、北区文化会館、参加団体との協働で実施します。 引き続き、11月開催予定の北区文化会館事業と北区フィルハーモニー管弦楽団と共同で事業PRを進めます。	B	北区音楽祭2018を開催しました。鑑賞者1,512人	豊栄地区公民館

② 学校教育

○ 地域と学校、社会教育施設を結ぶネットワークづくりを行うとともに、農業や食の体験活動を通じて生命と食、ふる里への誇りを育てる教育を進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
59	地域と学校パートナーシップ事業	学校と地域を結ぶ地域教育コーディネーターを配置し以下の取組を行います。 ①学校、社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくり ②学校の教育活動、課外活動における地域人材の協働と参画 ③学校における学びの拠点づくり ④学校の教育活動を地域に発信	B	区内21小中学校への訪問及び研修会の実施回数30回(訪問26回、研修会4回)	地域教育コーディネーターの資質向上及びネットワークづくりを支援するため、指導主事による訪問及び研修会の実施 ・実施回数30回	A	区内20小中学校への訪問及び研修会の実施回数38回(訪問34回、研修会4回)	北区教育支援センター
60	学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	学校の余裕教室などを活用して、公民館の講座を実施し、地域の大人と子どもとのふれあいを通して、地域の教育力向上を図ります。	B	葛塚東小学校ほか3校において出前型事業を開催しました。参加者延べ274人	区内の小中学校を会場に地区公民館で出前型事業を実施します。	B	早通南小学校ほか3校において出前型事業を開催しました。有情のまちの中学生ガイド養成講座、ガイドツアーを開催しました。 参加者延べ515人	豊栄地区公民館

○ 小・中学校における教育の実態や課題、少子化問題など、地域と情報を共有しながら教育環境の整備を行います。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
61	新潟らしい教育改革の推進	教育委員の担当区制や区・中学校区教育ミーティングなど地域と密着した教育行政を推進します。	B	・中学校区教育ミーティング4回開催(6月13日南浜、7月10日松浜、10月17日濁川、11月7日葛塚の各中学校区) ・区教育ミーティング2回開催(第1回7月20日、第2回1月18日)	中学校区教育ミーティングの開催(4回) ・木崎中学校区、岡方中学校区、早通中学校区、光晴中学校区 区教育ミーティングの開催(2回)	B	・中学校区教育ミーティング4回開催(6月26日早通、7月6日光晴、10月12日岡方、12月13日木崎の各中学校区) ・区教育ミーティング2回開催(第1回7月19日、第2回11月15日)	北区教育支援センター

○ 新潟医療福祉大学などと連携し、区内の小・中・高等学校における児童・生徒の学習支援や特別活動などに対する支援を行い、学力・運動能力の向上、地域との協働による人材の育成を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
62	大学生と地域の協働による人・地域・学校づくり支援事業	北区内の小・中学校等と新潟医療福祉大学、地域が連携し、児童生徒の学習環境等のバックアップと、地域との協働による人材の育成を図ります。	B	・区内小中学校や地域に大学生サポーターを派遣し、学習や地域活動を支援した。(派遣人数延べ1,142人) ・事業交流会の開催(2月)	学校や地域に大学生サポーターを派遣し、学習や地域活動を支援する(派遣人数延べ1,000人以上)	C	・区内小中学校や地域に大学生サポーターを派遣し、学習や地域活動を支援した。(派遣人数延べ720人) ・事業交流会の開催(2月)	地域総務課

③社会教育

○年代に応じた多様な学習機会を提供するとともに、区民の自発的な学習活動を支援します。さらに、その学習成果が、ボランティアなどの思いやりの活動として地域に生かされるような環境づくりを進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
63	地域コミュニティ活動活性化を支援する事業	地域課題学習を実施するために、公民館がコーディネーターとして関係者のネットワーク形成、学習を支援します。コミュニティ協議会等地域団体と連携しながら地域課題の解決を支援するとともに、地域活動を担う人材を育成します。	B	・「コミュニティビジネス」をテーマに講座を実施しました。参加者延べ23人。 ・コミュニティ・カレッジを開催しました。参加者61人。 ・「ご近所だんぎ」を毎月定例で実施しました。参加者延べ429人	地区公民館でコミュニティコーディネーター育成講座実施による地域課題解決の人材育成を行います。ご近所だんぎ月1回定期開催、豊栄地区公民館会場、顔のみえる関係づくりを進めます。	B	コミュニティ・コーディネーターの育成を目的に「防災を通じた地域づくり」の講座を実施しました。参加者54人。「ご近所だんぎ」を毎月定例で実施しました。参加人数延べ305人 コミュニティ・カレッジを開催しました。参加者57人。 戊辰戦争～西郷どんを開催しました。参加者120人。	豊栄地区 公民館
64	家庭の教育力の向上を支援する事業	子どもの成長期に合わせて、子育てに関する知識や情報、親としてのかかわりなど必要な家庭教育事業を実施します。また、子育て中の親に家庭教育の知識や情報を提供するとともに、子育てに不安を抱えている親同士の仲間づくりを進めます。	B	乳児期・幼児期・児童期の各家庭教育学級、子育てサロンを開催しました。参加者延べ761人	家庭教育学級の開催(乳児期4会場、幼児期2会場、児童期2会場) 豊栄地区公民館会場子育てサロンの開催(月1回) 北地区公民館会場子育てサークル交流会の開催(年1回)	B	乳児期・幼児期・児童期の各家庭教育学級、子育てサロンを開催しました。参加者延べ699人	豊栄地区 公民館
65	青少年の生きる力を育む事業	土日や長期休みの期間を中心に家庭ではできない自然体験活動・集団活動事業を実施します。また、子どもたちが自由に過ごすことができるように公民館の一室またはスペースを子どもの居場所として開放します。	B	通年で居場所スペースを開放しました。サマーキャンプ・土曜公民館など、小学生を対象に事業を実施しました。参加者延べ4,940人	青少年の多様な体験活動を単発・短期・通年で提供し、ナナメの関係(大学生、地域の大人、異学校異年齢)を入れながら実施します。	B	通年で居場所スペースを開放しました。サタディキッズ・子ども土曜公民館チャレンジキッズなど、小学生を対象に事業を実施しました。参加者延べ3,904人	豊栄地区 公民館
66	現代的課題を探り、解決を支援する事業	青年期から高齢期までの各世代の課題やニーズに応じた様々な事業を展開し、市民の自発的な学習活動を支援します。また、より豊かな市民生活に資するため、市民の高度で専門的な学習要求に応え、市民大学講座を開設し学習機会を提供します。	B	市民大学講座・女性セミナー等の事業を実施しました。参加者延べ491人	市民大学などの学習機会を提供します。	B	市民大学講座・ユースセミナー・女性セミナー等の事業を実施しました。参加者延べ308人	豊栄地区 公民館
67	地域出前事業	旧分館からの継続事業について自主活動への移行を図りつつ、出前型事業として支援します。	B	寿学級・手芸教室・ゲートボール大会など出前型事業を実施しました。参加者延べ1,268人	早通・岡方・長浦・木崎地区で実施します。	B	寿学級・手芸教室・ゲートボール大会など出前型事業を実施しました。参加者延べ1,486人	豊栄地区 公民館
68	豊栄連合婦人会補助金交付事業	豊栄地区に住む婦人の教養を高め、住みよい地域社会の建設を目的とした婦人会の事業に対して補助を行います。	B	豊栄連合婦人会に補助金を交付しました。	豊栄連合婦人会の事業の自立的運営の促進に向けて支援します。	B	豊栄連合婦人会に補助金を交付しました。	豊栄地区 公民館

④ スポーツ

○ スポーツ事業の展開による施設の活用並びに利用促進を図ります。また、区内でのスポーツ教室・大会・各団体の活動状況を、より多くの区民に伝える仕組みづくりを進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
69	生涯スポーツの振興事業	スポーツ・レクリエーションを通じ健康で明るく活力ある生活を送れるようなスポーツ事業を体育施設において展開し利用の促進を図るとともに、各団体の活動についてもホームページや区だよりを通じ、広く周知を図ります。	B	区役所だよりで活動団体を紹介(9団体)。スポーツ振興会等が中心となり様々なスポーツ活動・大会等を実施。施設工事計画に基づく修繕を行い環境整備に努めました。	区役所だよりで活動団体紹介(4団体) 補助金による各団体への活動支援 施設工事計画(指定管理者)に基づいた修繕を実施	B	区役所だよりで活動団体を紹介(4団体)。スポーツ振興会等が中心となり様々なスポーツ活動・大会等を実施。施設工事計画に基づく修繕の他、大規模工事を行い環境整備に努めました。	産業振興課

○ 各種スポーツ団体や総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、区民が気軽に親しめるスポーツ活動の場と機会を充実させます。こうしたスポーツ活動を通じて区民の一体感を醸成します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
70	北区総合スポーツ事業	種目別スポーツ大会やスポーツイベントなど、一体感を感じられる大会の実施や、北区の自然に親しみながら歩くウォーキングイベントの開催など、区民が気軽に楽しみ、スポーツを愛好できる機運を醸成します。	A	北区大運動会・競技別大会・スポーツ体験会(参加者2,296人)、「北区元旦歩こう会」(参加者617人)を実施しました。	スポーツレクリエーション、体験会、ニュースポーツ交流戦開催、北区元旦歩こう会開催 参加者数2,500人以上	B	スポーツレクリエーション大会・競技別大会・体験会・ニュースポーツ交流戦(参加者1,960人)、北区元旦歩こう会(参加者603人)を実施しました。 参加者合計2,563人	産業振興課

(2) 健康に暮らせる地域づくり

○ 病気の早期発見・治療に結びつくように、必要な情報提供や受診率向上に向けた取り組みを行うとともに、健康増進・疾病の予防・重症化予防の視点で個別支援・相談・講習会などを通して健康づくりを推進します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
71	生活習慣病の発症予防・重症化予防	生活習慣病の早期発見の重要性について、関係機関と連携し啓発活動を進めます。生活習慣病の予防や重症化予防のための健康相談や講習会などを実施します。	C	・健診カレンダー全戸配布(4月) ・健康相談会の実施(24回、相談件数54件) ・健康講座参加者数172人(公開講座61人、5回1コース2会場で実施111人)	生活習慣病予防講座参加者数200人以上	B	・健診カレンダー全戸配布(4月) ・健康相談会の実施:24回、相談件数48件 ・健康講座参加者数:148人(公開講座39人、4回1コース2会場91人、フォローアップ講座18人)	健康福祉課

○ 認知症への関心や認識を高め、認知症の早期発見・早期治療により健康の保持増進を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
72	認知症予防(もの忘れ検診)事業	北区に住所を有する年度年齢65歳以上の新潟市国民健康保険加入者、後期高齢者保険加入者および生活保護受給者のうち、本検診を希望する人若しくは本検診を承諾した人を対象に、区内12医療機関で特定健診と同時に実施します。精密検査は市内6医療機関に協力依頼します。	A	受診者数 2,299人	受診者数の増加及び協力医療機関の増加	B	受診者数:1,393人 協力医療機関数:12施設(増減なし)	健康福祉課

(3) 人にやさしい福祉の実現

① 地域福祉

○ 社会福祉協議会やコミュニティ協議会などと密に連携し、地域の中で互いに支えあう体制づくりを進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
73	地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進	「北区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の推進のため、推進委員会で進行管理を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。	B	推進委員会 2回開催 地域福祉座談会 8地区で開催	推進委員会2回開催及び地域座談会を8地区で開催	B	推進委員会 2回開催 地域福祉座談会 8地区で開催	健康福祉課
74	民生委員・児童委員の支援	地域で見守りや相談などの活動を行う民生委員を支援することで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	B	毎月の会長会に出席し、情報交換・情報共有を図るとともに、避難行動要支援者名簿、児童名簿、高齢者名簿発行時の作業依頼のほか、各種事業の周知について、事業担当職員が出席し、連携を深めました。	会長会等へ出席し、福祉制度の周知や情報交換につとめ、連携を深める。	B	毎月の会長会の場で、民生委員・児童委員の活動に必要な情報を提供・共有し、支援しました。また、個別ケースの対応等についても、随時連携しながら、迅速な対応に努めました。	健康福祉課
75	広報・啓発事業	社会福祉の啓発及び事業の周知のために、区だよりやホームページでの情報発信を行うとともに、北区社会福祉協議会と共催して地域福祉フォーラムを開催します。	B	各種講座や相談事業等を区役所だより、ホームページに掲載し、情報を発信しました。 地域福祉推進フォーラム 平成29年11月26日(日) 開催 参加者 253名	区役所だより、ホームページへの掲載、地域フォーラムの開催	B	各種講座や相談事業等を区役所だよりやホームページに掲載し、情報を発信しました。 地域福祉推進フォーラム 平成30年11月24日(土) 開催 参加者 303名	健康福祉課
76	生活困窮者相談支援	経済的に困窮している方に対し、就労や住居確保のための相談・支援などを行います。	B	7地区で行われる地区民生委員・児童委員連絡協議会に、社会福祉協議会・地域包括支援センター・ささえあいのしくみづくり会議の担当者と担当保健師及び生活困窮者生活相談員が参加。生活困窮者の支援体制や制度の周知を行ない、連携を深めました。	関係者間での情報交換会を開催。民生委員の会長会等に出席し、支援体制や制度の周知をはかり、連携を深める。	B	引きこもりや未就労の若者の相談窓口の案内や、各種困窮者支援に関する研修会を開催するなど、体制や制度の周知を図り、連携を深めました。	健康福祉課

② 高齢福祉

○ 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築や住民主体による高齢者の見守り活動の促進を図るとともに、住民が主体となった高齢者の居場所づくりや生活支援活動の意識啓発を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
77	老人憩の家運営事業	談話室・娯楽室・浴室等を備えた高齢者の活動・交流拠点施設として、高齢者の日中の居場所、趣味やレクリエーションの場を提供します。	B	4施設で実施	4施設で実施	B	4施設で実施	健康福祉課
78	老人福祉センター運営事業	談話室・娯楽室・浴室等を備えた高齢者の活動・交流拠点施設として、高齢者の日中の居場所、趣味やレクリエーションの場を提供します。	B	1施設で実施	1施設で実施	B	1施設で実施	健康福祉課
79	地域包括ケアシステムの構築	支え合いのしくみづくり会議(協議体)で地域の課題や不足するサービスを検討し、支え合いのしくみづくり推進員(生活支援コーディネーター)を中心に住民同士の支援活動を推進します。	C	・支え合いのしくみづくり会議を開催(1層:4回、2層:11回) ・「こらぼ家」の運営(開設日数242日、利用者 延べ5,764人)	支え合いのしくみづくり会議の開催数 1層 2回 2層 3生活圏域×4回	B	支え合いのしくみづくり会議を開催(1層:2回、2層:10回)	健康福祉課

○ 通所による各種サービス(教養講座・趣味活動など)を提供することにより、他者との交流や社会参加を促し、介護予防や社会的孤立解消を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
80	生きがい対応型通所事業	高齢者に通所による各種サービス(教養講座・趣味活動等)を提供します。	B	・ふれあいティールーム開設(92日、利用者 延べ757人) ・早通コミュニティデイホーム開設(241日、利用者 延べ4,407人)	ふれあいティールーム(週2回) 早通コミュニティデイホーム(週5回)	B	・ふれあいティールーム開設:95日、利用者 延べ798人 ・早通コミュニティデイホーム開設:240日、利用者 延べ4,739人	健康福祉課

③障がい福祉

○ 障がいの有無に関わらず、誰もが暮らしやすく、市民一人ひとりが尊重される共生社会の実現を目指します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
81	在宅生活支援事業	障がいによって生ずる経済的負担を軽減するため、特別障がい者手当等を支給するとともに、日常生活を円滑に過ごせるよう、日常生活用具の給付等を行います。	B	在宅生活に必要なサービスの給付を速やかに行いました。	各種手当申請者への給付	B	在宅生活に必要なサービスの給付を速やかに行いました。	健康福祉課
82	障がい者相談支援事業	相談支援事業者及び障がい児支援コーディネーターを配置し、障がい者が身近なところで相談や情報提供が受けられる体制を整備し、障がい者の自立と社会参加の促進を図り、在宅の障がい者やその家族に対して、各種サービスの利用援助や情報提供、ピアカウンセリング等を総合的にを行います。	B	障がい者の社会促進のための計画作成、各種サービス全般についての利用相談、障がい者及びその家族に対する支援等を行いました。	各種相談者のニーズに応じた支援	B	障がい者の社会促進のための計画作成、各種サービス全般についての利用相談、障がい者及びその家族に対する支援及び情報提供等を行いました。	健康福祉課
83	自立支援協議会	関係機関が連携して、障がいのある方を支援するために協議を行います。	B	5・8・11・2月の4回開催	自立支援協議会の開催回数(4回)	B	5・8・11・2月の4回開催 関係機関が連携し、障がい者を取り巻く地域の課題について協議しました。	健康福祉課

○ 障がい者の社会参加を促進するとともに、就労を含めた自立支援や地域生活支援の充実を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
84	介護給付等事業	障がい者が日常生活で必要とする、障がい福祉サービス等(ホームヘルプサービス等)に対して、介護給付費等を支給します。	B	障がい福祉サービス等(ホームヘルプサービス等)の介護給付費等の支給を適正に行いました。	各種サービス申請者への給付	B	障がい福祉サービス等(ホームヘルプサービス等)の介護給付費等の支給を適正に行いました。	健康福祉課
85	社会参加促進事業	障がい者の社会範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、タクシー助成券の交付や、自動車燃料費の助成等を行います。	B	タクシー助成券の交付、自動車燃料費の助成等を速やかに行いました。	各種サービス申請者への助成	B	タクシー助成券の交付、自動車燃料費の助成等を速やかに行いました。	健康福祉課

(4) 子育て支援の環境づくり

○ 「北区の子どもたちのために何ができるのか」という共通認識のもとに、地域で子育て家族を支えあう体制づくりを進めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
86	地域子育て支援事業	子育て講座や事業等を実施することで、参加した保護者同士や地域の方が、支え合って子育てができる環境をつくります。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・NP講座(2回、保護者 延べ98人、子ども 延べ105人)、パパスクール(4回、保護者 延べ22人、子ども 延べ23人)、傾聴スキル講座(1回、延べ68人)を実施 ・子育て情報誌「ままkita」を発行 ・子育て応援カフェ(5回、保護者 延べ18人、子ども 延べ21人)を実施 ・ふゆっこまつり(参加者約2,400人)を開催 	4講座実施	A	<ul style="list-style-type: none"> ・NP講座(2回、保護者延べ82人、子ども延べ84人)、パパスクール(3回、保護者延べ30人、子ども延べ36人)、傾聴スキル講座(1回、延べ52人)を実施、計6講座実施 ・子育て情報誌「ままkita」を発行 ・子育て応援カフェ(11回、保護者延べ51人、子ども延べ 73人)を実施 ・ふゆっこまつり(参加者約2,700人)を開催 	健康福祉課

○ 安心して子どもを産み育てられる環境整備に取り組みます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
87	地域子育て支援センター事業	地域の保育園が子育て家庭の親子に対し遊びの場を提供するとともに、子育て相談や親子遊びの紹介などを行います。	B	区内6か所で実施	区内6か所で実施	B	区内6か所で実施	健康福祉課
88	一時預かり事業	家庭での未就園児保育が困難になった場合に、保育園で一時的に預かります。	B	利用希望に応じて実施	利用希望に応じて実施	B	利用希望に応じて実施	健康福祉課
89	延長保育・休日保育・病児保育事業	保護者の勤務時間等の実態に合わせた保育の提供します。	B	利用希望に応じて実施	利用希望に応じて実施	B	利用希望に応じて実施	健康福祉課
90	児童館・児童センター事業	放課後や土曜日等に自由来館する児童に対して、遊びの指導等を行います。	B	4館で実施(豊栄 25,351人、三ツ森 13,797人、早通17,016人、葛塚東 12,552人、合計 延べ68,716人)	4館で実施	B	4館で実施(豊栄27,552人、三ツ森 13,550人、早通19,923人、葛塚東 13,848人、合計 延べ74,873人)	健康福祉課
91	妊娠・子育てほっとステーション事業	妊娠期からの切れ目のない子育て支援体制を構築します。	B	妊娠期から新生児訪問、股関節検診へと継続した支援が実施できました。	相談支援体制の充実	B	妊娠期から新生児訪問、股関節検診へと継続した支援が実施できました。	健康福祉課

5 「安心安全で暮らしやすいまち」～安全で快適な環境づくり

(1) コミュニティ活動の推進

○ 地域団体と行政が協働して人材の育成を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
92	地域コミュニティ活性化事業	地域コミュニティ活動を支援するために情報提供や人材育成・財政に関する支援を行います。	B	コミ協へ運営助成金による支援を行いました(10コミ協)。	コミ協へ運営助成金による支援を行います(10コミ協)。	B	コミ協へ運営助成金による支援を行いました(10コミ協)。	地域総務課
				コミ協及び自治会へ地域活動補助金による活動支援を行いました(99事業)。	コミ協及び自治会へ地域活動補助金による活動支援を行います(95事業)。		コミ協及び自治会へ地域活動補助金による活動支援を行いました(149事業)。	

○ 幅広い世代の男女が共同で参画し地域活動に関わることができるような仕組みづくりを検討します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
93	男女共同参画地域推進員企画事業	男女共同参画地域推進員が企画する事業を実施し、更なるPRに努めます。	B	性別や年齢を問わず参加できる「ジェンダーフリーな料理教室」を実施しました(年1回)。	男女共同参画を促進する事業を企画・実施します(年1回)。	B	性別や年齢を問わず参加できる「知ろう！作ろう！葛塚まつり！」を実施しました(年1回)。	地域総務課

(2) 地域の防災力強化

○ 自助・共助・公助の理念のもと、地域自主防災組織・地域コミュニティ協議会・消防団・消防署・区役所などが、災害時の対応に向け、それぞれの役割を再確認し、連携して地域が一体となった取り組みを実践します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
94	地域の自主防災力の強化	災害からの被害の最小化を目指し、災害に強い地域づくりを推進します。	B	自主防災訓練を実施 31組織	38自主防災組織への活動支援	C	自主防災訓練を実施 33組織	地域総務課

○ 地域での声かけの実践を含め、あらゆる手段を駆使し、災害時緊急情報を区民へ迅速かつ的確に伝達する体制をさらに強化します。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
95	地域の自主防災組織への支援	「自助」「共助」の力を育み、地域の防災力の向上を図ります。	B	年2回、195自治会に要支援者(要援護者)名簿を配布・説明	年2回、195自治会に要支援者(要援護者)名簿を配布・説明	B	年2回、該当のある190自治会に要支援者(要援護者)名簿を配布・説明	地域総務課

(3) 防犯・交通安全の推進

- 区民・事業者・警察・行政などが連携し、効果的な街頭防犯活動を実施して、地域が一体となって自主防犯力を高めるとともに、青色回転灯装備車によるパトロールを引き続き実施し、犯罪抑止に努めます。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
96	犯罪のない安心・安全なまちづくり	地域ネットワークによる国際化の進展に対応した地域づくりを推進します。	B	ネットワークによる交流事業の実施及びパトロールを実施 6回	ネットワークによる交流事業の実施及びパトロールを6回実施	A	ネットワークによる交流事業の実施及びパトロールを8回実施	区民生活課
97	地域防犯活動の推進	地域や警察と連携して、防犯啓発活動を行います。	A	防犯広報啓発活動を実施 31回	防犯広報啓発活動を26回実施	A	防犯広報啓発活動を実施 31回	区民生活課
98	防犯情報の積極的な発信	地域や警察と連携して防犯情報を共有します。	B	不審者情報を25団体(施設)へ配信 10回	不審者情報を25団体(施設)へ配信	B	不審者情報を25団体(施設)へ配信 16回	区民生活課
99	地域防犯パトロールへの支援	地域や警察と連携して、防犯パトロール活動を行います。	B	青色回転灯搭載車によるパトロール活動を実施 9回	青色回転灯搭載車によるパトロール活動を9回実施	B	青色回転灯搭載車によるパトロール活動を実施 10回	区民生活課

- 自治会・町内会や老人クラブなどの高齢者を対象にした交通安全教室を実施し、事故防止を図ります。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
100	交通安全教室の充実	交通安全教室を開催し、交通事故の防止に努めます。	A	老人クラブや小中学校等での交通安全教室を開催 72回	老人クラブや小中学校等での交通安全教室を68回開催	A	老人クラブや小中学校等での交通安全教室を開催 73回	区民生活課
101	交通安全の啓発	地域や警察と連携して、交通安全啓発活動を行います。	B	交通安全広報啓発活動を実施 47回	交通安全広報啓発活動を47回実施	B	交通安全広報啓発活動を47回実施	区民生活課
102	校区交通安全推進協議会の活動支援	校区交通安全推進協議会の活動を支援します。	B	校区交通安全推進協議会に対する活動支援 10地区	10地区の協議会活動に対する助成や用品の支給	B	10地区の協議会活動に対する助成や用品の支給	区民生活課
103	新潟県交通災害共済制度の普及促進	交通災害共済制度の加入促進を図ります。	B	区内全世帯(約28,000)へ申込書を配布	区内全世帯へ申込書を配布し加入促進を図る	B	区内全世帯(約28,000)へ申込書を配布	区民生活課

(4) 北区役所新庁舎の整備

- 区民の安心安全な生活を守る防災拠点としての機能を持つ新庁舎の整備を進めます。
○ 環境やバリアフリー化などユニバーサルデザインに配慮した庁舎とします。

番号	事業名	事業概要	H29 評価	H29年度事業実績	工程・数値目標	H30 評価	H30年度事業実績	担当課
					H30			
104	北区役所庁舎整備事業	区民の安心安全な生活を守る防災拠点としての機能を持つ新庁舎の整備を進めます。環境やバリアフリー化などユニバーサルデザインに配慮した庁舎とします。	C	基本構想(計画)の策定 基本設計の策定に着手	基本・実施設計の策定	B	基本・実施設計の策定	地域総務課